

2023年7月31日

各 位

ダイダン株式会社

ダイダン北陸支店が「照明施設賞」を受賞

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：藤澤一郎）の北陸支店が、一般社団法人照明学会が主催する「2023年照明施設賞」を受賞しました。



ダイダン北陸支店の外観

■ 照明施設賞について

照明施設賞は、国内各地域における照明利用の水準を高め、照明技術の発展と普及に貢献し得る優秀な業績を顕彰するものです。今回は国内各地から計 152 件の応募があり、各支部の照明施設賞選考委員会および照明学会照明施設賞審査委員会による厳正な審査を経て、ひときわ優れた計 50 件のうちの 1 件として選出されました。

(<https://www.ieij.or.jp/award/goodlighting.html>)

■ 北陸支店の概要と評価された点

ダイダン北陸支店は「伝統と革新の融合」をテーマに、地域に調和する次世代オフィスビルとして建設しました。建設地が伝統的建造物群保存地区に近いことから、まちなみに調和した建築デザインとなっています。「伝統的なまちなみとの調和」「脱炭素への貢献」「働きやすさの向上」をコンセプトに掲げ、脱炭素に貢献しながらも、明るく感じる照明設計を実現しました。

① 伝統的な街並みとの調和

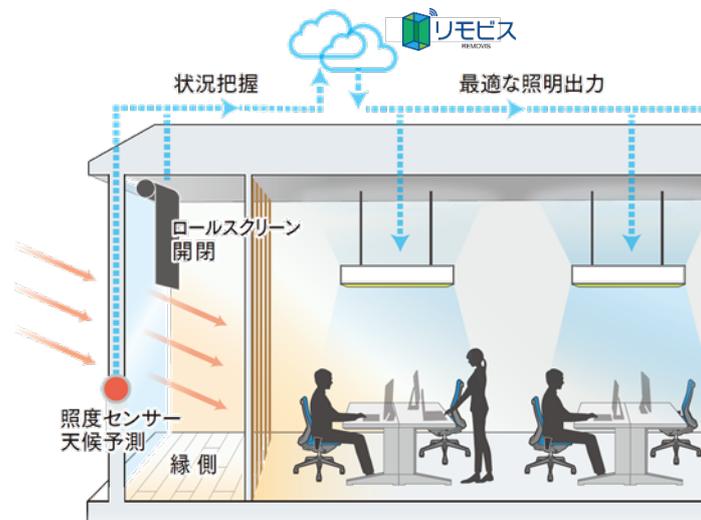
本建物の建設地は、百万石通りに面した伝統的な建物が立ち並ぶ地域となっています。そこで外観照明は、暖色系の照明を用いて障子から透ける光をロールクリーンと間接照明で表現し、温かみのある伝統的で趣深い雰囲気を感じられる照明デザインとしました。また、時刻の変化に合わせて照明出力を変化させることで、周囲の景観との調和を図りながら、やわらかな光で近隣住民の夜間歩行時の安全性に配慮しています。



障子から透ける光を表現した照明デザイン

② 脱炭素への貢献

自然光を積極的に活用した ZEB 建物では、照明と自然光の明るさの差から明暗がつき不快な環境になることがあります。そこで、自然光活用時にも室内の輝度分布を均一で一定にするクラウド型輝度制御システムを開発し、導入しました。この輝度制御システムは、明るさ感シミュレーションをもとに構築した最適照明出力テーブルをクラウド上に構築しています。そして、室内に入る自然光を「時刻、季節、天気」により判断し、目標輝度になるようクラウドからの指令で照明出力を調整します。北陸支店では、日中平均消費電力を約 $4.5W/m^2$ （建築学会環境基準の省エネ目標値： $5W/m^2$ ）で運用しており、省エネ性を確保しながら、空間の明るさである輝度も一定に保っています。



クラウド型輝度制御システムの概要図

③ 働きやすさの向上

働きやすさ・生産性向上への取り組みとして、執務室周辺に日本家屋伝統の縁側を取り入れ、自然光を積極的に感じられる心地良い空間にしました。また、集中ブースやファミレスベンチ、動線上の簡易な打ち合わせの場等、働く内容に応じた環境を用意することで個々の働きやすさを高めています。そして、これらスペースに応じて照明設計も変化させています。例えば、集中ブースであれば手元に集中できるダウンライトを主体とした設計とし、ファミレスベンチ等は心理的に落ち着きのある温かみのある色温度の照明を選定しています。また3Dシミュレーションにより、執務空間をはじめ、それぞれの場所で最適な明るさと心地よさを兼ね備えた空間を実現しました。



3Dシミュレーションによる照明の設計検討

■ 建物概要

- ・所在地 石川県金沢市尾張町
- ・延床面積 998 m²
- ・階数・構造 地上3階 / 鉄骨造 + 木造 (CLT、集成材) の混構造
- ・設計 ダイダン株式会社、株式会社プランテック
- ・内装設計 株式会社丸田絢子建築設計事務所
- ・施工 ダイダン株式会社、共立建設株式会社

【お問合せ先】

ダイダン株式会社
経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部
伊藤修一
〒102-8175 東京都千代田区富士見 2-15-10
[Tel:03-3261-8231](tel:03-3261-8231)
E-mail: PR@daidan.co.jp, itoshuichi@daidan.co.jp

以上